



第3回DIC協議会総会 資料

令和4年12月21日

1. 令和4年度DIC協議会スケジュール

2. 各PTの開催結果

3. 各PTの実証予定

4. 2023年度以降のDICの進め方について

5. その他

6. 今後のスケジュール

令和4年度Digital Innovation City協議会のスケジュール

取組		令和4年（2022年）										令和5年（2023年）				
		1～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
協議会	総会		第1回					第2回			第3回			実証の検証を踏まえた令和5年度の方向性検討	第4回	
	連絡会			第1回					第2回		第3回				第4回	
検討会・PT	会議	第2・3回 開催		第1回		第2回		第3回		第4回			第5回		第6回	
先端技術の実装に向けた取組	データプラットフォーム構築検討会	実証	検証	仕様検討			企画募集	承認	(調査・要件整理)							
	ライブ・エンタメ			先端技術の募集・選定				承認	実証			実証				
	モビリティ・物流	実証	検証	先端技術の募集				承認					実証			
	防犯・防災	立上げ		委託の募集・選定			企画募集	承認	(調査・要件整理)							
	環境・サステナビリティ			承認				(実証)			(実証)					
	自動運転	実証	検証	公募		選定	実施調整					実証	検証			
DIC社会実装支援窓口	RHDとの調整	各施設等との調整							窓口開設	スタートアップ向けPR・受入調整						
5G普及促進事業	事前調整・契約準備	契約	実施準備	5G専門家派遣・通信キャリア等との調整・DX化補助金との連携												
DX推進補助金	協議会・まち協等との調整	募集開始	協議会・5G普及促進事業との連携による制度周知・支援													
広報	SNS	Facebookページを活用したPR（随時）														
	HP	ホームページを活用したPR（随時）														

1. 令和4年度DIC協議会スケジュール

2. 各PTの開催結果

3. 各PTの実証予定

4. 2023年度以降のDICの進め方について

5. その他

6. 今後のスケジュール

第3回ライブ・エンタメPT 開催結果（概要）

開催日	• 2022年9月27日（火） 15 時00分～17時00分
開催場所	• WEB会議
参加者	• (株)フジテレビジョン、森ビル(株)、（一社）臨海副都心まちづくり協議会、東京大学大学院情報学環、事務局
議事	主な意見
森ビル実証結果に対するご意見	<ul style="list-style-type: none">• 報告書によれば、来場チケットとして許容できる価格にはばらつきがある。このため、今後事業化する際に、適正価格の分析が必要だろう• 実証に使用した「透過型スクリーン」が軽量であるならば、スクリーンが動くような仕掛けもあると創造性が高まると感じた
まちづくり協議会実証企画に対するご意見	<ul style="list-style-type: none">• 3DPhantomと花火による空間演出の有効性については、実証参加者の意見を基に検証する必要がある。出来るだけ参加者を増やせると良い• フジテレビ展望台を活用することができれば、会場のキャパシティ、立地、利用料の観点からテレコムセンター展望室より適切ではないか<ul style="list-style-type: none">➢ 本実証において、フジテレビ展望台が利用可能かどうか、別途相談させていただきたい
2025年のイベント連携に向けたご意見	<ul style="list-style-type: none">• 今後、別PTにおいて構築するデータプラットフォームの人流や防災に関するデータ連携も視野に入れたい• 東京ベイeSGプロジェクトとして2024年春頃に開催予定の「Tech」と「Food」をテーマにしたイベントと、DICとの関わりはあるのか<ul style="list-style-type: none">➢ DICも東京ベイeSGプロジェクトと連携していきたい。イベント同時期にDICとしてもテクノロジーの露出ができれば、連携余地があると考えている。詳細については今後調整

第4回ライブ・エンタメPT 開催結果（概要）

開催日	<ul style="list-style-type: none"> 2022年11月24日（木） 13 時00分～13時45分
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> WEB会議
参加者	<ul style="list-style-type: none"> (株)フジテレビジョン、森ビル(株)、（一社）臨海副都心まちづくり協議会、有識者（東京大学大学院情報学環 濱田様）、事務局
議事	<p style="text-align: center;">主な意見</p>
今年度のまちづくり協議会実証に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> 3DPhantomへの映像投影は、当日何時から何時頃まで行うのか <ul style="list-style-type: none"> ▶ 映像投影は概ね18時半～19時半頃までを予定している ▶ お台場レインボー花火は19時～19時5分まで開催予定である 来場者へのアンケート項目について、次年度以降へ実証実験をどう生かしていくか、実装を見据えて項目を調整したい 例えば、<u>都の補助金を活用して3DPhantomをイベント等で導入してみたいかを確認</u>する設問を設けたい 当日の参加者は、<u>まちの事業者へ周知を行うとともに、DIC協議会関係者の参加を予定</u> 当日、一般来場者はテレコムセンタービルへ入ってきているのか <ul style="list-style-type: none"> ▶ 制限はしておらず、テレコムセンタービル西棟・東棟ともに一般客が入っている可能性が高い ▶ 実証上の問題にはならないよう運営する
次年度以降の実証に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> <u>次年度以降、Niantic LightshipによるARを活用したより高度な演出を行い発展させることが考えられる</u> <u>新しい空間を映像や音楽で演出する類のコンテンツは、圧倒的な規模で魅了することが正攻法である。このため、次年度以降に実施する場合は、会場を拡大する等、スケールを拡大した開催ができる</u>とよい <ul style="list-style-type: none"> ▶ 次年度以降に会場規模の拡大を拡大していくにあたって、森ビルやフジテレビなど事業者とも連携していくことも検討したい <u>花火は強いコンテンツである反面、映像演出との連携は難しい側面もある。このため、次年度は花火に限らず、幅広く連携するテクノロジーやコンテンツを検討してもよい</u> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 次年度以降は、ARによる演出やデジタルアートなども含めてコンテンツを検討していく

第3回モビリティ・物流PT 開催結果（概要）

開催日	• 2022年9月22日（木）15時00分～17時00分
開催場所	• WEB会議
参加者	• 日本科学未来館、東京都立産業技術研究センター、Le DESIGN(株)、日本工営(株)、事務局
議事/	主な意見
モビリティイベントの プロモーション	<ul style="list-style-type: none">• <u>4つの実証を連携実施する方針であるため、全体PRのために「モビリティイベント」としてのイメージビジュアルの作成が必要</u>。全体的なプロモーションがしやすく訴求効果も高まる<ul style="list-style-type: none">➢ イメージビジュアルの内容やどのように作成するか具体化を図る• 4実証のうち、自動運転事業（公道、公園内）はDIC協議会の取組の一部である旨が伝わりやすいようプロモーションを工夫する• 過去に九州で行った新型観光モビリティ実証のPRでは、SNSよりもポスター掲示といったアナログな広報に訴求効果があった
モビリティイベントの 運営	<ul style="list-style-type: none">• 自動運転（公道・公園内）について、当日の利用状況（利用者数、乗降箇所）や参加者アンケートの分析を通じて、昨年以上に得られる成果を増やしていく• 4つの実証イベントの体験者の視点で考えると、実証でバラバラにせず、<u>アンケートの共通項目を設けたり、実証イベント相互間の案内が可能となるマニュアルの整備が必要</u>だろう• モビリティイベントのHPへのアクセス、参加者アンケートについては、視覚障害者を含めたアクセシビリティの視点を踏まえていただきたい• HPの仕組みとしては、モビリティイベント全体のHPページから各4つの実証のWebページへ遷移できる方式が望ましい。なお、自動運転事業は、今年度の実証にあたり、過年度同様のWebページを活用予定<ul style="list-style-type: none">➢ （今年が初の実証となる）Le DESIGN(株)と日本科学未来館は、共通Webページを新たに設ける予定• <u>DIC協議会のHPに4企画まとめた「モビリティイベント」のランディングページを作成</u>は可能か<ul style="list-style-type: none">➢ 技術的には問題なく可能。改めて事務局で内容や遷移先などについて相談させていただきたい
スケジュール	<ul style="list-style-type: none">• 12月中旬～下旬頃に一般応募者の募集をスタートさせることをマイルストーンとしていきたい

第4回モビリティ・物流PT 開催結果（概要）

開催日	<ul style="list-style-type: none"> 2022年11月29日（木）13時00分～15時30分
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> WEB会議
参加者	<ul style="list-style-type: none"> 日本科学未来館、東京都立産業技術研究センター、Le DESIGN(株)、日本工営(株)、(株)サニーサイドアップ、WILLER(株)、事務局
議事/	<p style="text-align: center;">主な意見</p>
各実証企画の確認 （AIスーツケース）	<ul style="list-style-type: none"> 雨天時は未来館展示スペースを周遊するルートとなる予定 新型モビリティの雨天時走行スペースも準備可能であるが、車両条件の調整が必要
各実証企画の確認 （自動運転）	<ul style="list-style-type: none"> 未来館前停留所は乗降者が一定数いると想定されるため、待機場所を設ける必要がある 参加希望者は枠が空いていれば当日参加も可能であるが、受付はアクアシティのみを想定 <ul style="list-style-type: none"> 未来館停留所から当日参加で途中乗車する場合のオペレーションを相談したい インセンティブ連携はスタンプラリー、クーポンともにヒルトン、グランドニッコー、アクアシティ、ダイバーシティと協議している
各実証企画の確認 （新型モビリティ）	<ul style="list-style-type: none"> 雨天時の会場は現地調査をしたい 車両は2基（予備1基を含む）を持ち込む予定
イベントの確認事項 （実施期間）	<ul style="list-style-type: none"> 2023年1月中旬から2月上旬に4つのプロジェクトを連携して実施 <ul style="list-style-type: none"> 各プロジェクトの具体的な実施期間については、引き続き調整を行い決めていく
イベントの確認事項 （プレスリリース）	<ul style="list-style-type: none"> 12月下旬にプレスリリースを予定 共通のプレスリリースでは、PJ名称、概要、ビジュアル、概略スケジュール、Webページのオープンについて周知し、事業者の募集フォームは後日開設

第3回データプラットフォーム構築検討会・防災防犯PT 開催結果（概要）

開催日	• 2022年10月11日（火） 15 時00分～16時30分
開催場所	• WEB会議
参加者	• (株)フジテレビジョン、森ビル(株)、（一社）臨海副都心まちづくり協議会、産業技術総合研究所、日本電気(株)、事務局
議事	主な意見
DPF要件定義の 企画内容に対する ご意見	<ul style="list-style-type: none">データプラットフォーム（以下、「DPF」）は運用主体と手法が実装のネックになることから、十分に議論できると良い<ul style="list-style-type: none">事例を見てみると自治体主導型、協議会主導型、共同運営など多数ある。臨海副都心エリアに適した手法については検討と議論が必要ランニングコストの試算を鑑みて検討していく必要があると考えている。現実的に運用可能な額に収める必要がある“誰一人取り残さない”というSociety 5.0が目指す社会像を見据え、デジタルサインージ等まちのアセットについても十分に活用できると良い<ul style="list-style-type: none">デジタルサインージだけでなく、<u>エリアの既存アセットについても把握して有効活用していく方針</u>であるDPFとの連携を目指す都市は想定されているのか<ul style="list-style-type: none">本エリアのDPFについては、東京データプラットフォームを担う東京都デジタルサービス局へ情報共有していく予定、連携先の一候補である。東京都以外との連携は追って検討が必要都市OSは都市間連携よりも先に、まずエリア内部での活用方法を議論するべきである<ul style="list-style-type: none">オープンデータは利用主体、利用方法の観点が変わるだけで利用価値が異なってくる。オープンデータの提供によって事業者がサービスの提供がしやすくなると期待している今回、臨海副都心エリアで実現を目指す防災機能について、FIWAREを使って実現している他事例はあるのか<ul style="list-style-type: none">河川管理、エリア防災データなど事例はある今回構築を目指すのは臨海副都心の防災ガイドを基に検討したシステムであるため、<u>臨海副都心エリアの特性と一般的な機能を組み合わせたオリジナルな機能の構築を目指す</u>

第4回データプラットフォーム構築検討会・防災防犯PT 開催結果（概要）

開催日	<ul style="list-style-type: none"> 2022年12月6日（火） 15時00分～16時30分
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> WEB会議
参加者	<ul style="list-style-type: none"> (株)フジテレビジョン、森ビル(株)、日本科学未来館、東京都立産業技術研究センター、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、産業技術総合研究所、日本電気(株)、アビームコンサルティング(株)、事務局
議事	<p>主な意見</p>
ダッシュボード プロトタイプ構築 に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> 発災時は、各地で混雑が予想され道路情報も必要となる。道路交通情報はダッシュボードに表示されるのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 今回制作するダッシュボードプロトタイプでは道路情報の実装はしない。ただし将来的な要件として含めることは可能である （ダッシュボードについて）視覚障害者などの情報弱者に対する対応方針、サービス展開（ナビゲーションなど）の想定はあるのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ デジタルサイネージ、音声放送などを通じたサービス展開方針について、DIC協議会の意見を基に具体化していきたい ➢ モビリティ・物流PTで実証する「自動運転」や「AIスーツケース」などのサービスとも連携を図っていきたいと考えている ➢ その他、インバウンド需要、訪日外国人向けサービスも議論していきたい プロトタイプでは区が設置する避難所はスコップ外である。将来的な入力情報は、都帰宅困難者対策オペレーションシステムとの連携から決定したい ダッシュボードへのアクセスはブラウザ経由であればデバイスは問わない仕様であり、スマートフォン等からアクセス可能。ただし、情報によって公開範囲が異なるために、情報の提供範囲を都民とするか、民間事業者とするかは要議論 プロトタイプにおけるオープンデータと新たに追加するデータの分類を伺いたい <ul style="list-style-type: none"> ➢ オープンデータとは、東京都のオープンデータカタログサイトから得られるデータ。更に、ダミーデータとして備蓄品情報などを入力する予定 ダッシュボードとのAPI連携について、公開可能な扱いとなっているオープン情報であれば、APIを通じたシステム連携は可能である
ユースケース の要件定義 に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> 臨海副都心の平日の流動人口を推計する際には、コロナ後の人流が回復しきれていない実態を踏まえ、2022年の平日の流動人口データで推計すべき 人流データは国のオープンデータを活用するのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 東京都の帰宅困難者対策オペレーションシステムのデータを活用予定。詳細は今後検討 避難訓練や実サービスでの還元を見据えると東京消防庁との連携が必要になる <ul style="list-style-type: none"> ➢ ヒアリングを通じて地元消防署、病院などのステークホルダーを精緻に整理していきたい

1. 令和4年度DIC協議会スケジュール

2. 各PTの開催結果

3. 各PTの実証予定

4. 2023年度以降のDICの進め方について

5. その他

6. 今後のスケジュール

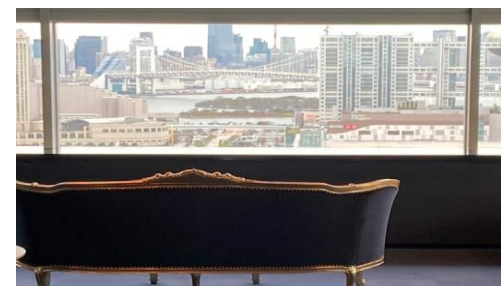
ライブ・エンタメPT実証予定 「魅力的なイベント等を体験できるまち」

目的	お台場レインボー花火に音楽とシンクロした3Dホログラム映像を投影することによる、新しい空間演出の実証実験
活用する 技術・ツール	3DPhantom (LED光源がライン状についたブレードを高速回転させ、光の残像によって映像を映し出し、インパクトのある3D映像を肉眼で体験できる3Dホログラムサイネージ)
事業内容	テレコムセンター展望室からの夜景と冬のお台場の風物詩である「お台場レインボー花火」について3Dホログラム映像(3DPhantom)に重ねることで、リアルイベントと先端技術を活用した空間演出を実現を図る。

概要	<ul style="list-style-type: none">■ 主催 一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会■ 企画 株式会社Life is Style■ 日時 2022年12月24日(土) 18:30開場 (花火は19時から約5分間)■ 場所 江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟21F テレコムセンター展望室ラウンジ■ 参加予定 東京臨海副都心まちづくり協議会会員の事業者、他
-----------	--



お台場レインボー花火 出所：お台場ネット



テレコムセンター展望室ラウンジ



出所：Life is Style

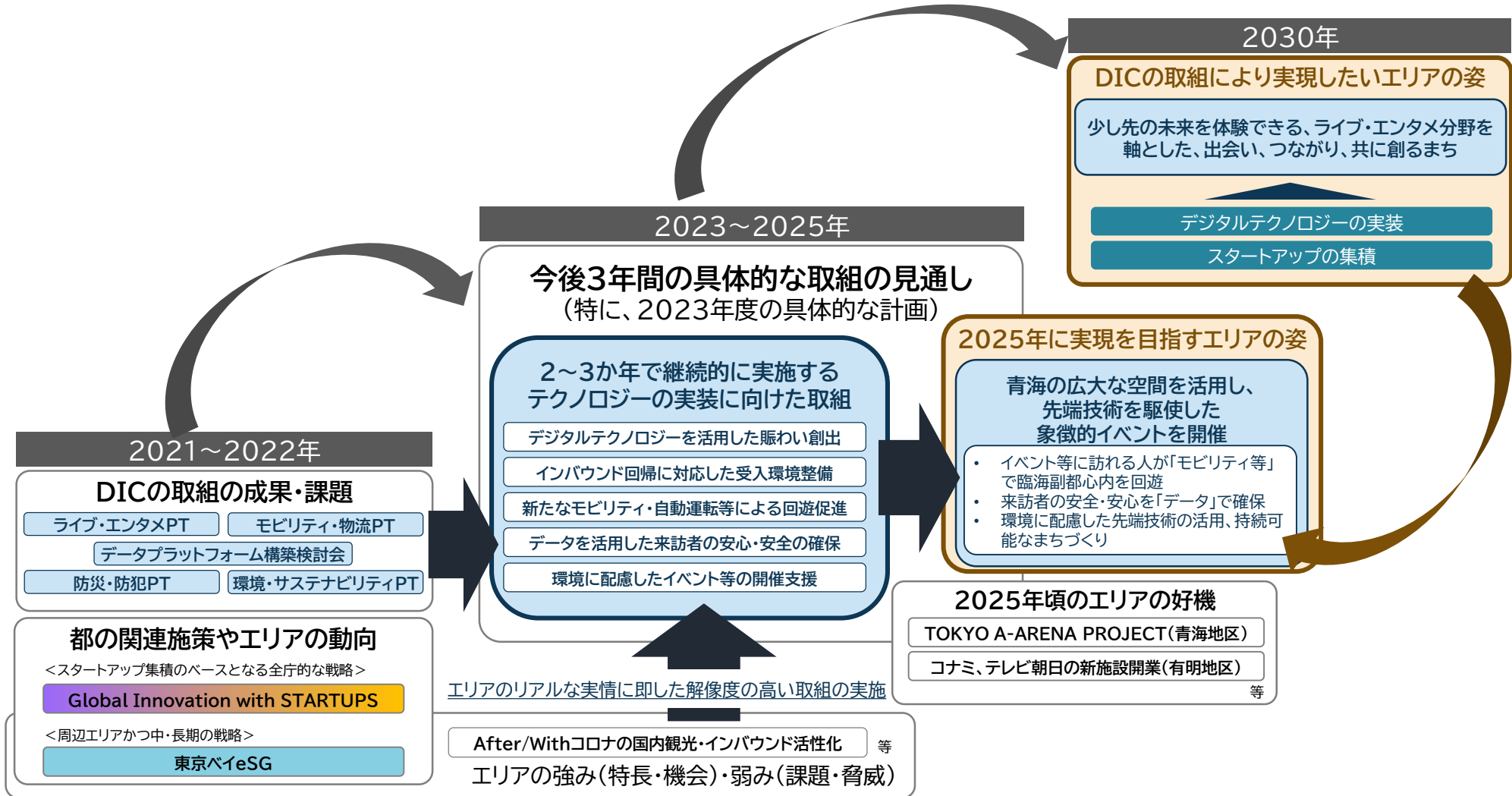
モビリティ・物流PT実証予定 「未来を乗りにおいてよ。次世代モビリティのまち体験」

目的	4種類の次世代モビリティの試乗機会を提供することで、年齢や障害の有無を問わず、誰もが公道や公園内の広大な空間を安全に移動・周遊できるエリアを目指すための実証			
活用する技術・ツール	1 小型電気EVバス「J6」 公道の自動運転走行	2 自動運転EVシャトルバス 「ARMA」公園自動運転走行	3 自律型ナビゲーションロボット 「AIスーツケース」	4 観光型小型自動運転モビリティ 「PARTNER MOBILITY ONE」
事業内容	自動運転技術を搭載した無人EVバスとして、東京テレポート駅を起点とする約2.5kmの2つの公道ルートを走行 	東京テレポート駅を起点としてシンボルプロムナード公園内を東西・南北に周遊 	視覚障害者の送迎を想定し、未来館入口からテレコムセンター駅入口迄のルートを運行（初の屋外走行実証） 	広大な敷地内での周遊を想定し、国際交流館前の公園内通路（片道約200m）の直線コースを往復 
概要	企画主体 日本工営(株)、 先進モビリティ(株) 実証期間 1/18 (水) ~29 (日) ※1/23,24,26,27は除く 走行ルート ①東京テレポート駅～アクアシティお台場 ②東京テレポート駅～日本科学未来館 参加者 12/26 (月) ~参加日前日迄 特設HPから申し込み受付	企画主体 日本工営(株)、WILLER(株)、 BOLDLY(株) 実証期間 1/28 (土) ~2/6 (月) ※1/31,2/1 は除く 走行ルート 東京テレポート駅～アクアシティお台場周辺 等 参加者 1/6 (金) ~参加日前日迄 特設HPから申し込み受付	企画主体 日本科学未来館 実証期間 1/28 (土) ~2/6 (月) ※1/31,2/1 は除く 運行ルート 日本科学未来館～テレコムセンター駅 参加者 1/6 (金) ~参加日前日迄 特設HPから申し込み受付	企画主体 Le DESIGN (株) 実証期間 1/28 (土) ~2/6 (月) ※1/31,2/1 は除く 運行ルート 国際交流館前を往復 参加者 1/6 (金) ~参加日前日迄 特設HPから申し込み受付

1. 令和4年度DIC協議会スケジュール
2. 各PTの開催結果
3. 各PTの実証予定
4. 2023年度以降のDICの進め方について
5. その他
6. 今後のスケジュール

2023年度以降のDICの進め方について

- 2025年、2030年に実現したいエリアの姿を見据え、2023～2025年の3か年、テクノロジーの実装とスタートアップの集積について、エリアのリアルな実情に即して解像度高く実施していく



2023年度以降のDICの進め方に関する意見交換

【論点1】

- 2023年度のライブ・エンタメPT、環境・サステナビリティPTの実証テーマ

【論点2】

- 2023年以降の進め方（確認）

1. 令和4年度DIC協議会スケジュール
2. 各PTの開催結果
3. 各PTの実証予定
4. 2023年度以降のDICの進め方について
5. その他
6. 今後のスケジュール

DIC社会実装支援窓口の開設

- 2022年11月9日に開設
- スタートアップ等による問い合わせを受けて、施設紹介や行政手続きをサポート

データプラットフォーム要件定義委託

- 12月上旬～1月下旬にかけて、DICデータプラットフォームへ求めること等について事業者へヒアリング
- 2023年1月のデータプラットフォーム構築検討会においてプロトタイプの動作確認を予定

スタートアップとの協働強化に向けた取組

- 2022年11月に新たなスタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS」を策定
URL:https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basicplan/2022/11/images/SUstrategy_japanese.pdf
- 2023年2月27～28日にCITY TECH TOKYO（スタートアップとのオープンイノベーションで持続可能な社会を実現するためのイベント）が開催される予定
URL:<https://city-tech.tokyo/>

1. 令和4年度DIC協議会スケジュール
2. 各PTの開催結果
3. 各PTの実証予定
4. 2023年度以降のDICの進め方について
5. その他
6. 今後のスケジュール

PTの予定

- 第5回モビリティ・物流PT：2023年2月頃開催予定
- 第5回ライブ・エンタメPT：2023年2月頃開催予定
- 第5回データプラットフォーム構築検討会（+防犯・防災PT）：2023年1月下旬～2月上旬開催予定
※以降、2023年3月に今年度の最終回となる第6回を開催予定

次回の総会

- 第4回総会は、2023年3月頃を開催予定